

科目ナンバリング		U-LAS70 10001 SJ50					
授業科目名 <英訳>	ILASセミナー：視覚科学 ILAS Seminar :Vision Science			担当者所属 職名・氏名	人間・環境学研究科 教授 齋木 潤		
群	少人数群	単位数	2単位	週コマ数	1コマ	授業形態	ゼミナール(対面授業科目)
開講年度・ 開講期	2024・前期	受講定員 (1回生定員)	10(10)人	配当学年	1回生	対象学生	全学向
曜時限	水5	教室	共北35			使用言語	日本語
キーワード	認知科学 / 心理学 / 実験手法 / 眼球運動測定						
(総合人間学部 of 学生は、全学共通科目として履修登録できません。所属部局で履修登録してください。)							
[授業の概要・目的]							
講義形式 of 授業では伝えること of 困難な「視覚科学」 of 研究 of 実際 of 現場に触れ、視覚による認識過程を科学的に研究する方法に関する知識を体験的に得ることを目指す。具体的には担当教員 of 研究室で行っている研究手法(行動実験、fMRI実験、眼球運動測定実験など)を取り上げ、実験現場への参与観察(実験協力者としての参加を含む)と、実験手法に関するチュートリアルとディスカッションを通して研究 of 実際を理解する。							
[到達目標]							
視覚に関する心理学実験を体験することにより、実験研究 of 基本的考え方を体験的に学ぶ。教科書的な知識と研究現場 of 関係、つながりを理解する。							
[授業計画と内容]							
前期 of ILASセミナー：視覚科学では、各研究手法による基本的な実験などを取り上げる。							
第1回：オリエンテーション(必要な場合は履修制限) 第2回：視覚科学 of 研究手法 of 概説(レクチャー) 第3回：行動実験1(心理物理実験)実習 第4回：行動実験1(心理物理実験)結果 of 予測(グループディスカッション) 第5回：行動実験1(心理物理実験)結果 of 解説、まとめ、ディスカッション 第6回：行動実験2(認知実験)実習 第7回：行動実験2(認知実験)結果 of 予測(グループディスカッション) 第8回：行動実験2(認知実験)結果 of 解説、まとめ、ディスカッション 第9回：眼球運動測定実験 実習 第10回：眼球運動測定実験 結果 of 予測(グループディスカッション) 第11回：眼球運動測定実験 手法、結果 of 解説、まとめ、ディスカッション 第12回：fMRI実験 実習 第13回：fMRI実験 解説とディスカッション 第14回：まとめ、質疑応答、全体 of ディスカッション 第15回：フィードバック							
[履修要件]							
特になし							
[成績評価の方法・観点]							
参加者は毎回 of 授業に出席しディスカッションに参加するとともに、各回 of 授業に関してPandAでコメントを提出する。これを平常点とする。また、授業で取り上げるテーマごとにレポートをまとめ提出する(計4回)。レポート of 内容は							
----- ILASセミナー：視覚科学(2)へ続く↓↓↓ -----							

ILASセミナー：視覚科学(2)

- ・授業内容のまとめ（研究手法についての知識の整理）
- ・その研究手法を用いた具体的な研究のアイデア
- ・その研究手法に関する意見（手法の限界、利点、改善点、など）

成績評価の方法

平常点 25% 発表・レポート 75%

素点（100点満点）で評価する。

【教科書】

使用しない

【参考書等】

（参考書）

授業中に紹介する

【授業外学修（予習・復習）等】

授業時間外にデータ収集や実習を行う場合がありうる。

【その他（オフィスアワー等）】